

■ 環境に配慮した活動

環境に配慮したサプライチェーンマネジメント

● 事例：2017年度 調達方針説明会を開催

5月17日大宮ソニックシティ 小ホールにて、307社406名の購買先様（北は岩手県奥州市、南は福岡県直方市）にお集まり頂き、生産センター、品質保証室と合同での『2017年度 調達方針説明会』を開催しました。

当社社長の挨拶に始まり、調達センターの新体制紹介後、調達センター・生産センター・品質保証室より当社の近況と2017年度（平成29年度）の生産活動に向けて以下の説明が行われました。

- ①調達センター新体制とジャンプ NIIGATA2016について
- ②調達センターの方針と取引先様へのお願い
- ③ジャンプ NIIGATA2016に向けた生産センターの取り組み
- ④2017年度生産計画 機種別生産動向

⑤VE活動について

⑥当社の品質改善活動～調達品に関する品質改善状況～

⑦購買先品質改善活動報告

その後、2016年度（平成28年度）の優良購買先の表彰を行い、受賞された各社代表者様よりコメントを頂きました。

出席社数は、例年通り多くの購買先様が来場され、引き続き当社への期待と関心を持って頂いていると実感しました。

当社の生産状況・計画・改善活動などの情報を公開する事で、生産活動をご理解頂き、購買先様側での生産の効率化及びムリ・ムダの排除に役立てて頂いております。



社長あいさつ



調達センター長による説明



参加された購買先の方々



受賞された購買先様



● 事例：WEB-EDI（電子商取引）“COMET”の活用

2014年に導入開始したWEB-EDI（COMET）は、4年目を迎え導入取引先様も282社と拡大されています。また、2017年度はカスタマーサポートセンターのメンテナンス部門の発注についても取引を開始しました。

従来の紙伝票の管理から電子データでの管理へ、手書き作業から電子データへ、FAXから電子データへ変更。

その結果、毎日繰り返される伝票の発送作業時間の短縮と郵送費の削減、FAX授受による手書き書類と紙の削減、手作業による人的ミスの削減、業務のスピードアップにより無駄時間の削減を図り、省エネで環境にやさしい業務への転換を図っています。

また、削減された無駄時間を付加価値のある業務に活かせるなど、職場の働き方改革にも貢献しています。

